

同

窓

会

会

報

発行 川崎医療福祉大学同窓会

〒701-0193 岡山県倉敷市松島288

TEL・FAX (086) 462-8541

E-mail: dosokai@mw.kawasaki-m.ac.jp

第5号

同窓会はこんなことをしています!

川崎医療福祉大学同窓会

会長 尾田 幸夫



会員のみなさん、いかがお過ごしでしょうか。各方面にてご活躍のことと拝察します。同窓会は今年で発足7年目となりました。会員の方は、この3月卒業された第7期生のみなさんを新たに同窓会にお迎えし、4,281人となっております。

今年度も会員、母校、在校生にとって実りある活動が行えるよう工夫を凝らし、事業内容の向上を図っています。

『では、具体的にどのようなことを行っているか?』

基本3事業として、1. 会員データの収集と管理 2. 同窓会報の発行 3. 会費の管理です。

この基本3事業を軸に、会員同士の同窓会活動や仕事を通じての情報交換の場を支援していきます。また、会報の発行により会員、母校、先生方の情報をお伝えしていきます。そのほか、在校生の進路に関することにも、なんらかの役割をはたせるかと考えています。

『新たに進めている事業は?』

現在新たに整備を行っている事業は、1. 支部活動の支援 2. ホームページの本格始動 3. 大学院卒者の同窓会入会があります。

支部支援については、自発的な学科単位での同窓会活動は以前から行われておりましたが、本同窓会ではその活動を支援していくことが能力的に難しく、できませんでした。しかし、本同窓会もようやく少しずつ軌道にのってきたことで、会員のみなさんにとってより身近で、有益な情報交換の場となる組織活動を活発に行ってもらい、支部として支援できるようその中身の検討をしているところです。

ホームページは、今あるものを作りなおし、更新していく態勢をつくって、より早く、便利な情報発信、収集ツールとして再始動させるつもりです。

大学院卒者の本会への入会に関してこれまで手付かずでした。川崎医療福祉大学を卒業された方はすでに本会会員ですので、主に他大学からいらした方に入会いただくことが主な内容となります。理事会などで話し合い、本会にお迎えしたいと考えております。

最後になりましたが、「同窓会が何をしているのか分からない」と言われなくなるよう、みなさんの気になる存在に、そして、みなさんが作る同窓会になっていくことを願っております。

重厚さと活力ある大学

川崎医療福祉大学

学長 江草 安彦



みなさんが各地で活躍されている様子を耳にするたびに、大きな誇りを感じています。私も旅行先などで、同窓生から直接近況を伺うこと、お手紙をいただくことなども多いのですが、その都度、教師としての喜びを禁じ得ません。

資治通鑑という中国の書物に「桃李満天下」という言葉があります。桃の花、李の花が各地に美しく咲き香っている様子を表しています。桃の花や李の花はすぐれた人材を示しているのですから、人材が満天下にあふれている様子を表しているといわれています。

私は、川崎医療福祉大学の多数の卒業生のみなさんが、全国各地で医療福祉の現場で、そして教育機関で活躍し、評価されている現状を表している言葉であるとひそかに思っています。桃の花、李の花であるみなさんに心から敬意を表し、いつまでも人の美しさを人々に感じてもらえるようになさって下さい。

ところで、21世紀を示すキーワードは医療・福祉・環境・文化だと言われています。それだけに、川崎医療福祉大学への期待はきわめて大きいのです。

全国に数ある医療福祉系大学のリーディング・ユニバシティである本学も開学11年を迎えました。カリキュラムの検討、教育施設のリニューアル・整備、東ウイングの東に新しい教育・研究棟の建築、さらに大学の地域社会への開放（ユニバシティ・エクステンション）などを同時に進めています。多彩な公開講座は全国的に注目されています。みなんのご来学をお待ちします。

さらに、来春からは映像資料を中心とした医療福祉アーカイブス（仮称）の創設にとりかかる計画もあります。大学の重厚さと活力を目指したいものです。

21世紀初頭は大学にとって冬の時代と言われています。本物とそうでないものとが区別される時代です。風当たりの厳しい中で、本学はあらゆる努力を重ねて高い評価が得られるよう努めています。みなさんのご発展を心からお祈りします。

大学トピックス

医福大が大きくなるぞお〜

校舎棟増築着工

—教育・研究環境の充実・向上へ—

本学の設置母体である学校法人川崎学園は、本学本館棟東ウイングに接続して、高層棟鉄筋造地上10階延べ面積15,541㎡相当を増築することとした。

増築する理由・目的は、本学開学以来、大学院設置、学科増設、入学定員増などに伴い、講義室、実習室、教員の研究室さらには学生の更衣ロッカー室等が、手狭になったことに伴い、増築することによって教育・研究環境、学生の厚生環境等の充実を図ると共に、川崎学園全体として将来の大学構想の整備・充実化などを総合的に勘案して今回の増築計画となったものである。

完成は、平成14年3月末頃を目標にして工事が進められることになる。

(医福大ニュース59号より)





「この夏、うれしかったこと」

医療福祉学科 教授 清水 雅子

卒業生のみなさん、お元気ですか？ わたし？ 年を重ねる毎に種々のストレスにも耐性が強くなって怖いほど元気です。もっとも、老化で鈍感になっているだけで、実は、周囲には迷惑かけているかも。しかし元気な証拠に、8月上旬には全国学会で発表をし、ほっとする間もなく、就職開拓のために関東地方の事業所訪問にでかけました。いつもは書物に埋もれ、抽象的な作業である英語習得を指導している私ですが、この度の訪問で、福祉行政も民営化の方向にあり、さらに企業が進出していることを実感しました。いくつかの施設、病院で、卒業生の方たちにもお会いして、皆さんがしっかりと仕事に取り組んでおられる様子を目の当たりにし、強烈な暑さも吹き飛ばすほどうれしかったです。

今日は久しぶりなので、一杯いっばいお話ししたいことがあるのですが、字数も限られています。そこで、今回出会った卒業生のひとりの近況を紹介し、みなさんへのエールに代えさせていただきます。

彼女は最近結婚し、時期を同じくして転勤、新しい環境

に順応する苦勞に加えて妊娠。

悩んだけれども、職場の方たちの励ましで出産を決意、1年の休暇後、職場復帰するそうです。私がうれしかったのは、職場の先輩たちは偶然か女性ばかりでしたが、若い同僚をバックアップしていることでした。女性たちが長い目で福祉という事業を見据え、職場での福祉の対象者ばかりでなく、自分たちの福祉も相互に助け合いながらよりよいものにしていくこうとする姿勢が感じられました。何をいまさら、と思う方もいるでしょう。けれども、社会的気運があっても、法律に護られていても、職場という言葉コップの中の水はとかく波打ちがちであり、女性が快適に働くことの出来る場はまだまだ少ないのではないのでしょうか？

私はひとりの卒業生の間人関係を通して、卒業生の皆さんも「女性がもっと幸せになる」ためにサポートし合い、また、それによって「幸せが大きくなる」男性が増えるように、努力を続けて欲しいと考えたのでした。

もひとつ羨ましかったこと。それは、彼女が今も専門ゼミの先生とコンタクトを続けていること。というわけで、私には具体的な指導は出来ないけれど、気持ちのある方はメールください。(アドレス: macochic@mw.kawasaki-m.ac.jp マコチックではなくてシックと読む。シックは病気の意味ではなし。) それでは、お元気です。また。



「小耳(こみみ)にはさんだ嬉しい話」

臨床心理学科 助教授 保野 孝弘

最近、うれしいことが2つ。ちょっと小耳にはさんだ話と、声をかけて頂いた事。「・・・、あいつ、よく頑張るなあ」。私は、ある居酒屋で一人食していると、そんな声がテーブル席から。「大学は、川崎の福祉大やったな、あいつ」と、さらに続く。テーブルに背を向けてカウンター席に座る私の顔はいっそうゆるみ、赤ら顔はさらに進んだ。現場で実際に働いている皆さんの姿を拝見して、うれしく思うのは当然ですが、このように何げなく聞こえてくる評判は、またうれしいものです。もう一つは、私がある研修会の講師で出向いた時、休憩時間に、「私、福祉大出身です」と声をかけて頂いたことです。「職場での仕事はどう？」と、非常にあいまいな質問を彼女に。「忙しいけど、楽しいです」という答え。楽しく働いていること、うれしいではありませんか。さて、皆

さんの中に、職場の人間関係で悩んでいる方はいませんか？ どうしたらよいかと相談を受けることもあります。全てに万能薬とは言えませんが、2つのことをお勧めします。一つは、まずは相手の話を最後までじっくり聞くということ。とにかく聞くのです。心理学では、よく「カウンセリング・マインド」と言われます。何かと「私は・・・」「私は・・・」と、自分のことばかり話したり、相手の話の途中で意見をはさむなど、逆の立場に立つと気分よくないですよ。相手にまず語らせること、相手も気分がよくなり、その人自身の問題に本人が気づく場合も。二つ目は、相手に対して腹が立ったら、頭にくることを言われたら、その人を「先生」と思ってみてはいかがでしょうか。「自分以外は皆先生」ととらえます。「何か教えてくれているのかもしれない」「何か学べるかもしれない」と考えることで、イライラがすーっととれた経験が、私にはよくあります。最後に、ふと大学がなつかしく思ったら、いつでも大学に顔を出して下さい。「久しぶり、元気か?」。そんな声が研究室や廊下に響くのもいいものですね。



かけがえのない「独り」のあなたへ

保健看護学科 教授 太湯 好子

卒業生の皆さま、お元気でしょうか。1回生の皆さまは、少し余裕ができました。新しいことに挑戦したくなる頃でしょうか。2回生、3回生は、まだまだ目の前の課題をおやりになるのが精一杯というところでしょうか。お同い致します。

今年は、アメリカで、大きなテロ事件が発生し、妙に私のところも落ち着かなくなりました。こんな時こそ、足元をしっかりと見据えて、自分の居場所を確かめたいと思いました。形あるものはかなさと同時に、形あるものを守る事の難しさにも、出合わせて頂きました。生かされている「いのち」の大切さとの出会いでもありました。小さき虫にもいのちが宿っている。どんな民族にも、どんな立場の人にも。テロへの報復は次の報復を生むだけではないだろうかと思わずにはおれません。「罪を憎んで人を憎まず」と言葉が届けられます。それぞれの立場が相互に尊重できなくなった時、

争いが生まれる。人は人と分かり合う事はできないのでしょうか。少し立ち止まる勇気と、大切なものを見誤らない努力が今こそ必要な時に思えます。

医療に携わる私たちは、「かけがえのないいのち」と出合い、「独りのいのち」に向きあわせて頂きます。ケアをさせて頂く中で、私の、貴方の「かけがえのなさ」に出合わせて頂きます。私の「いのち」が大切のように、貴方の「いのち」も大切だと思うのです。

草木も木も、動物も人も地球に大地に根ざしています。看護の仕事は限りなく「いのち」を愛しむところから、育まれていく職業のように思っています。

今、この時、自分にできることから、迷いながらも一つ事をやり続ける。地球に暮らす地球人の一人として、国家を越えてと願わずにおられません。大学に遊びにお出下さい。お元気なお顔を見せて下さい。

名もない草木も実をつける

いのちいっばいに

自分の花を咲かせて

(あいだみつお)



長所も短所もあってこそ人間

医療情報学科 教授 太田 茂

私は障害者や高齢者のQOLを高める機器の開発に取り組んでおり、授業でその話に触れた折に感想を書いて貰っているが、「私は健常者なので障害者の気持ちは判らない」等と書いた文章を見つけると、君は完全無欠なのかと問い返したくなる。

私は一歳の時に罹ったポリオのせいで足が不自由である。小学校入学直後のイジメは凄まじいもので、放課後はすぐに家に帰り本ばかり読んでいた。敗戦直後のことで足繁く通った市立図書館にも本は少なく、小説類は読み尽くして講談や落語の本まで精読する変な小学生だった。その分、知識は豊富で、それもイジメの一因だったようだが、学年の進行に伴って住み易くなった。否定的に語られることが多い成績至上主義や学歴偏重主義は私にとって心強い味方で、進学は順調そのものだったし就職の心配も全くしなかった。学業だけでなく芸術的才能や運動能力あるいは財力、時

には容貌や容姿、とにかく、人に勝る点があれば障害に由来する問題点の一部は解決されるが、根本的要因が消滅する訳ではないから、名誉白人の処遇とたいして違わない。しかし、完全無欠な人などいる筈がない。長所短所両方あるのが人間なのだ。皆さんだって、もう少し頭が良かったらとか顔が良かったらといった気持ちを必ず持っている筈で、劣等感皆無という人がいたら、お目にかかりたい。そう考えると、障害者と健常者の悩みは程度の差こそあれ本質的には何も変わらない。このことは自分の経験から確信を持っていることができる。

それに、今のように誰もが長生きして高齢者になる時代には、いずれ全員が身体機能の低下に悩まされ少なくとも半ば障害者という状態に必ずなる。正に「明日は我が身」の話なのだ。障害者や高齢者の気持ちが判らないのは、判ろうと努力しないだけ。間違った意味に解釈する人が多いらしいが「情けは人のためならず」という古い諺は、他人に掛けた思いやりがいずれ自分に帰ってくると論している。一面の真理が有るように私は思う。



より良い仕事をしていますか

感覚矯正学科 教授 深井 小久子

卒業生の皆様、仕事を楽しんでいますか、良い仕事をしていますか？

大学創設期に苦勞を共にした一、二期生の皆様は、5～6年のキャリアを積み専攻職業人として、職場の中核として自分の居場所を見つけ活躍していることと思います。また、キャリアに関係なく「使命感に燃えている」、「職場で信頼されて後輩の指導をまかされている」などしっかりと大地に足を着けて順調に良い仕事に恵まれている便りは、ホッとすると同時に仕事によって人として鍛えられ、成長していることが分かります。ひとり一人がそれぞれ置かれた所で生き甲斐を見つけ出し、自分の価値に気付いた便りは特に嬉しく、何度も何度も読み返し在校生に先輩の生き方として伝えていきます。しかし、5～6年もたつと世の中が少し見えてきて、「勉強がしたい」、「もっと腕を磨きたい」、「そして「職場を変えたい」など、仕事の焦りや限界を感じ苦悩する言葉を耳にすることがあります。こんな時は、資格をとるため(?)卒業するため(?)に一生懸命で

あった大学時代を思い出し初心を忘れて自分に気付いてください。そしてもっと専門性を深めようとするならば大学院で学ぶ道を選ぶのも良いし、また関連領域の学習をするのも選択肢のひとつだと考えます。しかし仕事の焦りや限界を感じた時のほとんどが、既に自分の持っているものを見失い、探し求めている場合があります。そんな時隣の芝生は青く美しくそして輝いて見えるものです。自分の足のすぐ下には素晴らしいチャンスがあることを知らないで、どこかに今よりはより良い仕事をありはしないかと探し求めているのです。そんな時は、焦らないで自分の仕事を分析することをすすめます。これによってきっとより良くする方法を発見することができます。また少なくとも今の仕事をより良くしようという意識が目覚めてきます。

21世紀は変化の激しい時代です。こんな時だからこそ、私はより良い仕事の意識が大切だと思えます。責任を持って良い仕事を心に向けて下さい。

今も川崎医療福祉大学は、医療・福祉・保健学系の大学教育のパイオニア的存在であり続けています。その卒業生としての誇り、キャリアから得られた自信そして与えられた仕事に対して情熱を持って取り組んでいただき、職場でかけがえのない人としてご活躍をされることを期待しています。



自分を振り返って、そして前進を

感覚矯正学科 助教授 吉岡 豊

同窓会誌に原稿を依頼されても何を書いたらよいかかわからない。そこで前回の同窓会誌を見せてもらうと、なんと「恩師の近況」とあるではありませんか。私自身が恩師などとは考えたことがありませんでした。どうでしょうか。まあ枕はこのくらいにして、つらつらの思うことを綴っていくことにします。

皆さん、覚えているでしょうか。学生時代に受けた試験のことを。原稿を書いている今は春学期の定期試験が終わったばかりです。試験という言葉は聞くとつらい思い出が蘇ることでしょう。私たちは小学、中学、高校、大学と試験で評価を受けてきました。入学試験は競争試験ですが、これも評価の一つでしょう。しかし、大学を卒業してORT、STとして医療機関で働いている皆さんはテストで評価されるということはないはずです。そのかわり、患者数や保険点数によって組織から評価されているかもしれません。一方、会社では売り上げ成績などで評価され、それによってボーナス査定も変わることでしょう。

しかし、皆さんを真に評価しているのは誰なのでしょう。それは毎日接している患者様ではないでしょうか。私たちは患者様からどのように思われているかについて知ることはできません。何故なら患者様は本音を言ってくれないからです。にもかかわらず、患者様から信頼されているかどうかという問題は非常に重要で、私たちの存在に関わる問題といえます。もし、患者様がどんどん減っていくというような事態が起こっている場合は、自分の言動を反省して必要があるかも知れません。

私たち人間は評価されることを嫌う傾向があります。しかし、評価されるシステムがないと緊張感が失われて易きに流れ、自己研鑽を怠り成長できなくなります。大学を卒業をしたのはゴールではなく、人生の成長のスタート地点に着いたにすぎません。卒業をしてしばらくたてば仕事もそれなりにできるようになり、すべてが順調のように思えてしまいます。しかし、そのような時ほど落とし穴があります。躓きがあります。躓かないためにも自己研鑽と人との交流を心がけて日々成長を遂げていって下さい。人の振りを見て、自分の行動を自省してみてください。自分の姿は自分では本当に見えないものです。そして、信頼される専門職として前進していって下さい。

同窓会の皆さんへ

健康体育学科長 小野寺 昇



夏の太陽の輝きが嘘のようにめっきり秋が近づいてきています。皆さんきっとお元気にお過ごしのことと思います。同窓会誌への投稿の機会を得ましたので最近の私たちの様子をお知らせするお便りを書きたいと思います。

10月1日から秋期（後期のこと）の講義が始まります。いつもの活気ある雰囲気が戻ってきます。4年生にとっては時間が過ぎるのを早く感じる頃です。特に卒業研究の提出に向けて集中している間に一気に時は過ぎます。卒論、就職、卒業試験、卒業など区切りがはっきりする時期でもあります。

健康体育学科の4年生も卒論一色になります。後輩は先輩の卒論のお手伝いに駆立てられますが知らず知らずのうちに新しい知識を吸収することもできます。このような繋がりは、学生時代の関係に留まらず社会に出ても続くものです。そして、社会生活を一層楽しいものにしたたり、あるいは一生を方向づけたりしているようです。

近頃、「赤ちゃんの写真」「結婚します」「結婚しました」という寿シリーズの郵便物が多くなりました。とても嬉し

いことです。大学の講義で高齢化、少子化の現況をお知らせしました。少子化対策を自ら実践している卒業生をこれからも応援していきたいと思えます。

11月17日(土)に本学の温水プールにおきまして水泳・水中運動学会を開催します。アクアエクササイズのワークアウトシンポジウムを計画しています。自閉症児の水中運動模擬プログラム、ベビースイミング、若い人のためのアクアプログラム、水中トレッドミル等を予定しています。健康運動指導士、実践指導者の単位認定も申請中です。夕方からは懇親会を3階レストランで行います。学会員でない方ももちろん参加できるようにしていますので、ぜひ参加してください。

先日医療福祉学科の卒業生さんから船穂町の社会福祉協議会でお年寄りの皆さんにお話をしてくださいという依頼がありました。もちろんお受けしましたが、当日、健康づくりの話をして一向に乗ってきませんでした。それどころか午後のお昼寝にいそむご老人も現れたりしました。それでちょっとだけ「ウニコ」の歴史を話したら皆さんの目の輝きが一変しました。およそ1時間「ウニコ」の話をしました。終了後、館長先生から「今日の話はよかった」とご評価いただきホッとしました。不思議な気分で高梁川を渡り帰路につきました。

メールで交流

臨床栄養学科 教授 加藤 保子



お元気ですか？今年には特に暑い日が続きました。厨房など暑い中でお仕事をされていて大変だと思います。臨床栄養学科の教職員も皆元気にしています。例年のことですが、今年も就職をされた新人のために、就職先を分担して廻り、就職された方々の元気な顔を見て安心して帰ってきました。事務長さんなど管理職の方とお会いして川崎学園の卒業生の評判を伺い、「献立にいろいろ工夫して残飯が随分減った」とか、「管理栄養士の国家試験に合格してくれてほっとしている」という話を伺うとこちらも嬉しくなります。就職して数年間は、どこの学校の出身者であるかということが良く話の端々に昇ります。前歴を問題とすべきではないというものの、採用した側からは、次の採用時の重要なデータとなるでしょう。

平成14年度から管理栄養士養成課程のカリキュラムが大きく変更されます。臨床や栄養教育などが重要視されるよ

うになってきます。本学では既に臨床栄養として病院実習を大幅に取り入れているため、中心となる変更点は開学当初から行って問題となりません。逆に本学の有り様が他大学からうらやましく思われています。栄養指導や栄養教育などの面で心理学も必要視されています。この点も本学には臨床心理学学科があつて容易に必要な教育が組み込まれやすいというメリットもあります。本学の臨床栄養という名称が随分時代を先取りしてきた名称であったようです。

訪問したとき就職して数カ月しか経っていないのに、とっても懐かしがって頂くと、仕事上一人で対応しなくてはならなかったりして不安に感じることも多いでしょう。栄養指導などいろいろ困っている話も伺いました。必要な知識は日々新しくなっています。知識が不確かなものもあるかと思えます。そんな時、判らないことや新しい知識を習得する方法を出来るだけ早く身につけてください。一つの方法として、我々教員と連絡をとることもあります。インターネットの発達した現在、メールで問い合わせたいだけでも結構です。共に学んでいきたいですね。連絡下さい。

可能性を信じて地道な努力を

リハビリテーション学科 教授 井上 桂子



卒業生の皆様、様々な職場でご活躍のことと存じます。充実感を味わっている方、仕事に慣れてきて「このままでよいのか」と疑問を感じはじめた方、ちょっと憂うつな気分の方、どん底の気分の方など様々な状態をお過ごしのことでしょう。がんばればがんばるほどゴツゴツといろんな所につかっついてつらい思いをしている方もいらっしゃるかも知れません。今回は、皆様より少し長く生きて作業療法士と教員という仕事を続けてきた先輩という立場で、ちょっとつらい気分の方向けのメッセージにしたいと思います。

教育と臨床の経験の中で、人間ってとってもしなやかで可能性に富んだ生き物だとつくづく感じています。重度の

身体障害を有してしまっても、新しい能力を発揮して生き生きと暮らすようになれる方々、学生時代は卒業できるかどうかを心配したのに、何年か後にはバリバリと活躍する作業療法士になっている方々をたくさん見てきました。あなたも自分の可能性を信じてください。すぐにダメという結論を出さないで、粘ってみてください。もちろん力を尽くすことが大切です。努力を続けていてこそ不可能と思えたことが可能になってくるのです。可能になるには地道な努力を続ける相当の期間が必要です。すぐに結果を求めても無理です。障害を有する方々を対象に仕事をしていらっしゃる方は、その対象者に向き合う姿勢も同様であって欲しいです。努力は結果を生み出すことを信じて、希望を持って対象者と共同作業を積み重ねてください。それには気力と体力が前提です。どうか自分の心身を健やかに保つ工夫をしながら、一日一日を大切に過ごしてください。



今、必要なこと

リハビリテーション学科 講師 菅原 憲一

同窓生の皆さん、お元気で忙しい毎日をお過ごしのことと思います。リハビリテーション学科の卒業生は1期生が3年目になりますね。働き出して、ちょうど職場にも慣れ、仕事が楽しい時期なのではないでしょうか？ 2期生、3期生の方々も社会人としての自覚をひしひしと感じていることでしょうか。

私が理学療法士となって、ふと読んだ論文の中に以下のようなことが書かれていました。それは、『理学療法士や作業療法士の発展過程と今後』というようなタイトルだったと思います（はっきり覚えていないのですが…）。PTとOTが正式に誕生してから35年が経つ中で、まず、①経験的PT・OTの時代、②教条主義的PT・OT、③統計学的PT・OTというように発展してきたということです。考えてみればその通りで、先ず①は教えてくれる先輩もなく、自分自身の経

験を元に日々の臨床を行っていく時代です。②教条主義的というのは、カリスマ的な治療法、特に欧米から入ってくる様々な治療法を学び、それを信じて行っている時期、そして、③統計的に臨床事象を考え、科学的にPT・OTを行って行こうとする考え方です。卒業生の方々はそれぞれ、今どの時期にいるのでしょうか？ また、今後どの立場で自らの行う治療を形成していきますか？ 私が少ない経験の中で思うことは、どれに偏ってもいけないということです。まだ、PT・OTが誕生して35年程度です。もちろん正しいことが多いと思いますが、誤っていること、正しいと信じられていること、慣例となっているからとりあえず行っていることなどありませんか？ 若いから、経験がないからただ従うだけでなく、PT・OTをさらに良い方向に向けていくためには、素朴な疑問を勇気を持って投げかけていくこと。そして十分に理解していくこと。そういったことが今必要なことであると思います。経験を積むごとに恥ずかしい質問は出来なくなっていきますから…。益々のご活躍を祈念いたします。

医療福祉学科

教授 飯田 精一先生
金 相圭先生
副島 林造先生
橘 智子先生
保坂 哲哉先生
助教授 白川 千尋先生
助手 内田富美江先生

保健看護学科

教授 齋藤 泰一先生
R.島崎玲子先生
深井喜代子先生
助教授 中村裕美子先生
人見 裕江先生

医療情報学科

教授 福井 廉先生
水本 久夫先生

感覚矯正学科

教授 粟屋 忍先生
助手 爲季 周平先生
森田 雅子先生
吉田 仁美先生

健康体育学科

教授 辻 悦子先生
講師 佐々木次郎先生

臨床栄養学科

教授 堀野 正治先生

ご退職
された
先生方

お悔やみ
申し上げます

感覚矯正学科 名誉教授 木本 哲夫
医療福祉学科 教授 副島 林造

部サークル紹介

ラグビー部です。

私たちラグビー部はプレーヤー17名、マネージャー8名で、日々おかしく、時には厳しく練習しています。昨年は人数もそろわず、けが人もでて、思うように結果もだせずに悔しい思いをしました。その悔しさをばねに今年は一人一人が 昨年みたいな思いはしたくないと、いい意味で緊張感をもって練習に取り組んできました。その甲斐あってか、先の中国大会では見事準優勝することができました。次の目標は、10月に行われる大会で岡山を制し、中国、全国大会へと勝ち進んでいくことです。そのために人数もぎりぎりですが、体力、技術、気持ち、あらゆる面を鍛えてより良いチームになるように頑張っていきたいと思います。



こんにちは！手話サークル～Finger Voice～です。

私たちは交流を通じて聴覚に障害を持つ方々について学び、理解を深めながら楽しく手話を学んでいます。勉強だけでなく、七夕会やクリスマス会などイベントも盛り沢山です。また、福文祭と学園祭の2大イベントは活動があまり知られていない手話サークルにとって数少ないアピールチャンスなので特に力を入れています。今年の福文祭は去年と同様、ハートフルウィングとちょらすとジョイントコンサートを行い「ひだまりの詩」と「明日があるさ」の2曲を手話で発表しました。学園祭では毎年プラザで手話劇と手話歌の発表をしています。手話劇はセリフを覚えることも大変ですが、気持ちを声ではなく手話で表現しなくてはならないので、恥ずかしがらずに表情を出すことがとても大切で大変です。手話歌は歌詞を手話に置きかえることに一苦勞です。大人数で曲に合わせることがとても大変ですが、全員の息が合って手話がそろった時はとても綺麗に見えます。今年も夏休みから練習を始めます。みなさん、練習の成果をぜひぜひ見に来て下さい。

手話サークルは学外にも飛び出し、様々な活動に参加しています。現在、中四国大学手話サークル連絡会、岡山県大学手話クラブ～Free Hand～、そして岡山県手話サークル連絡協議会に参加して運営や企画作りに携わったり、他団体と情報交換を行ったりしています。また、勉強会や交流会、合宿に参加して手話の技術を磨き、他大学の人と友達になったり、多くの聴覚障害者の方々と親しくなったりしています。

私たちのサークルはそれだけでなく個性的でにぎやかだったのですが、今年は1年生が43人も入ってきてサークル内は大パニックです。でもわきあいあい、楽しく、おかしく活動しています。



OB会情報

部 名	存在の有無	入 会 方 法
少林寺拳法部	存在する	卒業生に案内を送付します。
男子バレーボール部	存在する	近々発足の予定。入会方法は未定です。
男子ハンドボール部	存在する	部に所属していた人、交流を持っていた人お待ちしています！
合唱部“ちょらす”	存在する	4年間、練習や定期演奏会をまじめに取組み卒業すると自動的に入会。
華道部“すずらん”	存在しない	今のところ、発足の予定なし。

卒業生 得情報 Page

医療福祉 学科

シンポジウム 「障害者の自立問題を考える」

法律、政策等障害者を取り巻く環境が大きく変わりつつある中で、国民の障害者に対する偏見など意識面での遅れは依然として大きいものがあります。

こうした状況のもとで障害者が置かれている現状を真摯に見据えつつ、身体、知的、精神等の障害者を中心に、医療・福祉施設・機関・団体等の関係者、市民、家族らが一堂に会し、障害者の自立問題について考えてみたいと思います。

開催日時：平成13年10月6日(土)13:30～16:30

場 所：川崎医療福祉大学 6101教室

内 容：シンポジウム

座長：小池 将文

「私たちの試みと課題」

シンポジスト：身体障害者代表、知的障害者代表、精神障害者代表

参加費：1,000円(学生は無料)

申込締切日：平成13年9月29日(土)

申 込 先：川崎医療福祉大学 医療福祉学科公開セミナー係
TEL 086-462-1111 (内線4811)

保健看護 学科

卒業生のみなさんお元気ですか？

4期生が地域実習です。これが終わるといよいよ就職活動も本格的に始まります。

卒業生の皆さんのところにも後輩が情報収集に出かけることと思いますが、よろしくご指導をお願いいたします。

<退職教員の紹介>

齋藤 泰一 学科長

介護老人保健施設ソフィア横浜で施設長をされています。

連絡先 E-Mail: sophia5@abeam.ocn.ne.jp

島崎 玲子 副学科長

青森県立保健福祉大学健康科学部看護学科で教授をされています。

深井 喜代子 先生

岡山大学医学部保健学科で教授をされています。

中村 裕美子 先生

広島県立保健福祉大学保健福祉学部看護学科で老人看護の教授をされています。

人見 裕江 先生

鳥取大学医学部保健看護学科で在宅看護の助教授をされています。

<新任教員の紹介>

矢野 香代 先生…地域看護学を担当

高見 千恵 先生…本学の大学院を卒業(1期生)し助手をされています。

8月と9月には母子と基礎看護に新任の予定もあります。

<卒業生の皆さんへ>

先生方にお知らせしたいことや近況報告、相談ごとなど、何か変わったことがありましたら遠慮なく下記までお知らせください。

平成13年度より学科長・副学科長が変わりました。

学科長 大澤 源吾 E-Mail: osawa@mw.kawasaki-m.ac.jp

副学科長 柳 修平 E-Mail: willow@mw.kawasaki-m.ac.jp

就職委員 太湯 好子 E-Mail: futoyu@mw.kawasaki-m.ac.jp

臨床心理 学科

臨床心理学科主催 公開セミナー

開催日時：平成13年10月6日(土)13:30～15:30

場 所：川崎医療福祉大学 6101教室(本館6階)

テ ー マ：現代のうつ病

講 師：渡辺 昌祐

(今年度でご退職されるので記念講演の意味も含んでいます。)

参加費：2,000円

受 付：電 話 086-462-1111 内線4812 白神さん

ファックス 086-464-1109

郵 便 701-0193 倉敷市松島288

川崎医療福祉大学 臨床心理学科

注 目：セミナー終了後、卒業生と教職員との懇親会を開きます。今回は臨床心理学科全体同窓会を立ち上げるための相談もありますから、多くの人の参加を待っています。

医療情報 学科

<学会>

1. 日本POS医療学会大会

開催日時：平成14年3月23日(土)～24日(日)

開催場所：川崎医療福祉大学講義堂およびアリーナ

連絡先：大会事務局

TEL.086-464-5188

FAX.086-464-5207

E-mail: jpos-24@mw.kawasaki-m.ac.jp 担当 山本 朋子

大会参加費：6,000円(会員)→7,000円(非会員) → **500円**

(当日、500円玉を握りしめて受付までおこしくさい!!)

懇親会費：3,000円(事前に振込み願います。振込先は折り込み広告を!!)

内 容：折り込み広告をご覧ください。

2. 日本病院管理学会 第200回例会

日 時：平成13年10月14日(日) 14:00～17:30

開催場所：川崎医療福祉大学 講義棟4601講義室

連絡先：TEL.086-462-1111

(内線4958,4310 岡田 美保子)

内容説明：テーマ「病院に必要な医療情報テクノロジー人材像」基調講演とシンポジウムを予定しています。

感覚矯正 学科

言語聴覚専攻

○同窓会 9月22日(土) 15:00～

種村 純先生講演予定。

○岡山県言語聴覚士会成人部会主催シンポジウム

「嚥下障害のチームアプローチ」

日 時：平成13年11月17日(土)

14:30～17:00

場 所：川崎医療福祉大学2601教室

参加費1500円

○医療福祉学会主催 山鳥 重先生講演会

平成13年12月1日(土)参加無料

○失語高次脳機能強化

月2回木曜日17:30より6階資料室にて論文抄読会(英文)

○卒業生勉強会 月1回開催予定(症例検討を中心に)

以上お問い合わせはemailまたはfaxにてお願いします

Email: sensorys@mw.kawasaki-m.ac.jp

Fax: 086-463-7126

感覚矯正 学科

視能矯正専攻

中四国視能訓練士会岡山部会

昨年度より岡山・香川県の視能訓練士を中心に、中四国視能訓練士会岡山部会を発足しました。この会は社団法人日本視能訓練士協会のブロック制確立を念頭におき、中四国地方に情報収集、学術交流の幅広い繋がりを持つことを目的とし

ております。

活動方針は 1) 公的機関からの情報提供の場を持つこと 2) (社)日本視能訓練士協会の活動方針である地方ブロック別の生涯教育の一端を担うこと 3) 積極的な社会活動を行う他の医療専門職との連携をとりながら発展性のある会にすることです。

以上の趣旨にご賛同いただける方であれば県内外を問わず、幅広く入会募集しています。会の活動としましては、2月に第1回勉強会を川崎医療福祉大学で開講し、9月2日に第2回勉強会を川崎医科大学附属川崎病院で開催しました。

入会希望、ご質問等ありましたら事務局までご連絡ください。中四国地方在勤、在在を問いませんので、同窓生の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

連絡先

中四国視能訓練士会岡山部会事務局
〒701-0192 倉敷市松島577

川崎医科大学眼科内

TEL: 086-462-1111 (内線3730)

FAX: 086-463-0923

(文責5期 前田 史篤/7期 小林 泰子)

リハビリ テーション 学科

リハビリテーション学科の一期生の卒業に伴い同窓会を設立いたしました。

次年度より、先生方に講演を依頼し卒業研修会を兼ねて同窓会を開催しております。

つきまして、本年度は、下記の通り開催する運びとなっています。

第2回 卒後研修会

第3回 同窓会・懇親会

会 長: 杉本 努

日 時: 2001年11月3日(土)

14:00? 同窓会

14:30? 講演会

16:00? 懇親会

会 場: コンベンショナルセンター

岡山市駅元町14-1

〒086 (214) 1000

特別講演: リハビリテーション科の保険診療について

講師 伊勢 眞樹先生(倉敷中央病院リハビリテーション科)

事務局

〒701-0193 倉敷市松島288

〒086-462-1111 (内線4722・4832)

川崎医療福祉大学大学院

リハビリテーション学専攻 杉本 努

home: <http://i.am.ihukudai>

E-mail: w650004@mw.kawasaki-m.ac.jp

健康体育 学科

岡山体育学会/講演会

開催日時: 平成13年10月13日(土)

内 容:

特別講演: 調枝 孝治先生(大阪体育大学大学院)

演題名: 未定(スポーツ心理学に関する内容)

一般発表: 未定(8-9月中に受付いたします)

担当者: 宮川 健

日本水泳水中運動学会

開催日時: 平成13年11月17日(土)、18日(日)

内 容:

17日(土): ワークアウトプログラム(温水プールでのアクアエクササイズの実演)

・温水プールでのアクションプログラムを実演

特にアクアエクササイズを対象者別にプログラムを紹介する。

自閉症児者に対する模擬プログラムを実演紹介する。

・水中トレッドミルの体験プログラムを行う。

・水中リラクゼーションを紹介する。

18日(日):

特別講演

鹿屋体育大学の荻田太先生を講師に迎え、最新の水泳技術とそれをささえる運動生理学の係わりについて新しい知見を紹介していただく。

一般発表

全国から水泳水中運動に係わる研究者等が集合し、それぞれの最新知見を発表する。

担当者: 小野寺 昇

卒論研究発表会

開催日時: 平成14年1月26日(土)

内 容: 全員発表します。

担当者: 矢野 博巳

臨床栄養 学科

卒業生の皆さん、お元気ですか。それぞれ職場、家庭等々でご活躍のことと思います。

今年、栄養士・管理栄養士養成施設カリキュラム改正があり、本学科においても講義、実習科目が新たに組み直され、平成14年4月からは新カリキュラムでスタートします。

<管理栄養士国家試験対策>

管理栄養士国家試験は、年々難しくなってきました。臨床栄養学科では、本学科既卒者対象の国家試験対策通信講座を下記のとおり実施しています。受講希望者は申し込み下さい。問合せ先は、下記のとおりです。

管理栄養士国家試験対策通信講座

実施時期: 6月~2月(随時受付)

実施方法: 模擬テスト: (年間5~6回 通信制 成績を返送 1回1,000円)

平成13年度模擬テスト:

6/9、7/14、10/5、11/2、1/11、2/1

対策模擬: (1月末1週間 福祉大学内 既卒者無料)

平成13年度対策講義: H.14. 1/28~31

<就職活動>

現在、8期生が就職活動をしています。皆さんの勤務先または近隣の施設で求人はありませんか? お知らせください。

また、卒業生の皆さんについても、就職相談窓口を設けています。

問合せ先: 新卒担当 就職進路指導委員会

平成13年度担当 原野 恵子先生

(4年次生クラス担任) (内線4974)

既卒者担当 三宅 妙子先生(内線4915)

<問い合わせ先>

上記以外でも何か問い合わせ、相談、近況報告等ありましたらご連絡ください。

〒701-0193 倉敷市松島288

川崎医療福祉大学 医療技術学部 臨床栄養学科

坂本 浩子(学科研究補助員)

TEL.086-462-1111 (内線4905)

E-mail: asanoh@mw.kawasaki-m.ac.jp

大学同窓会 兵庫県支部 発足の奇跡

兵庫県支部各期代表者一同

本学開学11年目を迎える本年、当支部活動の一大イベントとして「医療福祉学科兵庫県支部同窓会」を、初夏の晴天、明石海峡大橋を一望できる一室にて開催いたしました。

当日お忙しいにも関わらず、佐々木学科長、竹中先生、恩師の竹内先生、尾田同窓会会長にお越し頂きました。また、23名の同窓が集い美味しい食事に楽しいイベントありと数々の反省や課題は残るものの、滞りなく閉会致しました。

当支部は、昨年8月19日に県支部単位で初めて発足致しました。その目的は、県内で活躍する同窓生同士の交流や研鑽、新しく輩出されてくる後輩の方々の方面窓口などを掲げています。いざ始動してみると、参加される皆さんの参加目的は様々で、改めて運営のあり方が問われますが、楽しい親睦の場がやはり原点のようです。

当支部は現在、モデル事業として本格始動を迎えています。兵庫県在住、または勤務されている同窓の皆さん、気軽に参加してみてください。なにかホットな話題・気分に出会うことができるはずです。問い合わせ先は……同窓会事務局まで!!

連絡先：〒651-2403 神戸市西区岩岡町西脇838番地

医療法人 社団 東峰会 関西青少年サナトリウム ソーシャルワーカー室 佃
TEL(078)967-5550 直(078)967-1202(代) FAX(078)967-3861

医療福祉学科同窓会支部設立、 全国各地にも県支部設立を！

初めまして、「川崎医療福祉大学同窓会医療福祉学科支部長」の2期生三石哲也と申します。

去る平成12年10月14日に「岡山ロイヤルホテル」にて、大学10周年という節目の年でもあり、大学も同窓会に期待を寄せていることなどから医療福祉学科同窓会設立総会を開催致しました。

当日は、医療福祉学科同窓会設立総会にはじまり、医療福祉学科佐々木正美教授（学科長）と、医療福祉学科小池将文教授（図書館長）による記念講演を行い、さらに講演の後には、記念祝賀会としてOBの先生や現任の先生方と全国各地から集まった卒業生とで久しぶりの再会を楽しむことができました。

さて、この医療福祉学科同窓会の活動については、「会員相互の親睦を図り、会員と母校医療福祉学科との連携を密にして母校医療福祉学科の発展に寄与することを目的とする」と会則にもありますが、卒業生同士や大学との連携、学生との交流など情報交換等を通じ、お互いに協力しあっていきたいと考えております。設立されたばかりで未熟なため、今後の活動に皆さんのご協力をお願いしたいと思います。また、今後全国各地に医療福祉学科県支部を設立していただき、多方面に連携していけたらと考えております。

同窓生近況報告コーナー

＊皆んなー元気か？ ラグビー盛り上げよーぜ！重、結婚できたか？

（ラグビー部1期キャプテン）

＊ただ今、オーストラリアで人間をきたえています。（感覚(視能)3期M上）

＊ラグビー部OBのみなさん。会費払ってー。TT（ラグビー部マネ1期N）

＊えひめ～！杏仁豆腐おいしかったよぉ～♪（情報3期西ちゃん）

＊卒業アルバムを見て気づいたこと…。もう半分くらいの人が結婚してたぁ～

（ふゆかの結婚式&二次会にてだ3人）

川崎医療福祉大学創立10年誌が発行されました



昨年、母校である川崎医療福祉大学は、創立10周年を迎えました。それを機に、10年間の足跡を記する創立10年誌が編集・刊行されました。開学以来の10年の歩みと今後の展望が記された貴重な資料となっております。

つきましては、同窓生の皆様で、購入をご希望の方がいらっしゃいましたら、販売いたします。申し込み方法は、下記のとおりです。

多くの方々のお申し込みをお待ちしております。

川崎医療福祉大学創立10年誌

A4サイズ 561ページ
2001年6月21日発行
約3,000円（郵送料別）

<同窓会事務局から一言>

厚さ約4cm、カラーページ多数有り。大学の創設にたどり着くまでの裏話など掲載しております。お〜っと、詳細はこのくらいで、あとは買ってからの楽しみです。私たちが在籍していた大学の歴史が織り込まれています。皆様、記念に1冊いかがですか？ 多くの方のお申込をお待ちしております。

購入をご希望の方は、下記に表示してあります「お問合せ先」までご連絡ください。申込資料をお送りいたします。

見本を見たい！ という方は、医療福祉大学本館8F同窓会室に置いてありますので、気軽におこしください。ただし、同窓会室の空いている時間帯は、月、火、水の9:00~12:00の間です。この時間以外で同窓会を覗いてみたい!! と言われる方は、下記連絡先まで気軽にご連絡ください。ご希望の日にと時間に、同窓会室を開放してお待ちしております!!

お問合せ先

川崎医療福祉大学同窓会事務局

〒701-0193 倉敷市松島288

TEL・FAX 086-462-8541

月、火、水（9:00~12:00）

締め切り日：平成14年1月28日（水）

E-mail : dousou@mw.kawasaki-m.ac.jp

事務局

川崎 賢紀
(感覚3期)
能勢 幸子
(福祉2期)

同窓会本部は、年2～4回の役員会を開催し、同窓会運営のために必要な各局の活動等について協議をしております。現在、同窓会本部は、同窓生が各学科あるいは地方で集結し、活動を行う支部の承認とその支援体制についての準備を進めております。只今、医療福祉学科支部と兵庫県支部が設立され、活動を行っているという状況です。同窓生が年々増加していく中で、支部の存在は、同窓生の皆様の間の交流や情報交換をスムーズにし、効率を良くするために不可欠であると思われまふ。他学科についても現在、同窓会支部として組織化する話が幾つかございます。会員の皆様の中で、地方支部を設けたいという考えをお持ちの方がいらっしゃれば、本部として協力と援助をさせていただきますので、是非ご連絡ください。そして、平成15年には、川崎医療福祉大学同窓会総会を開催したいと考えております。会期や内容などが決定いたしましたら会員の皆様にご連絡させていただきます。最後に、どんな些細なことでも情報提供やご質問のある方は同窓会事務局までお電話かE-mailでご連絡いただけたら幸いです。

TEL/FAX : 086-462-8541

E-mail : dosokai@mw.kawasaki-m.ac.jp

渉外調査局

岡本 紀子
(情報5期)

主な活動内容

1. 単年度版名簿の発行
2. 会員住所等のデータ管理
3. 会員データ利用依頼への対応

3. 帰省先住所・〒・TEL

4. 現勤務先・勤務先住所・勤務先TEL・職種

会員みなさまへお願い

会員みなさまの最新データ充実のために下記項目を同窓会までご連絡下さい。今後も同窓会会報を会員みなさまに確実にお届けできます。よろしくお願ひします。

連絡先

1. E-mail dosokai@mw.kawasaki-m.ac.jp
2. FAX 086-462-8541 (同窓会直通)
3. TEL 086-462-8541 (同窓会直通)
月・火・水 9:00～12:00
上記以外の時間 留守TELになります。
4. 郵送 〒701-0193 倉敷市松島288
川崎医療福祉大学同窓会
渉外調査局 宛

連絡項目

1. 卒業年度・卒業学科
2. 現氏名・旧姓・現住所・〒・TEL/FAX・メールアドレス

※大学事務室宛でなく同窓会直通でお願いします。

企画局

西中川 珠美
(情報3期)
高原 紀子
(感覚1期)
宮崎 泰広
(感覚7期)
河村 奈穂
(情報3期)

皆さんこんにちは。今回、この会報を発行しました企画局です。主な活動としては、年に1度の会報発行、卒業生に対する卒業記念品の選別などです。“企画局”なんてとても立派な名前がついているのですが、これといった大きな企画などはできていません。そこで、同窓会を多くの方に知ってもらうための宣伝活動も、今後行う予定です。まずは、同窓会のホームページを立ち上げ、たくさんの方にアクセスしてもらうことが今年の目標です。

こんなことが知りたい!! こんなこと知ってます!! というような情報がありましたら、どしどし、下記連絡先までお知らせください。(必ず学科と名前を入れてね!) また、会報同窓生近況コーナー掲載記事も募集しています。必ず氏名、連絡先を御記入ください。これらの情報は、会報、ホームページ作成に利用させていただこうと思ひます。

E-mail dosokai@mw.kawasaki-m.ac.jp

FAX 086-462-8541 (同窓会直通)

TEL 086-462-8541 (同窓会直通)

月・火・水 9:00～12:00

上記以外の時間 留守TELになります。

郵送 〒701-0193 倉敷市松島288

川崎医療福祉大学同窓会 企画局 宛

会計

同窓会の活動は みなさんの終身会費で 運営されています

梅田 みのり
(体育3期)
新田 早美
(栄養2期)
林 貢一郎
(体育2期)
興梠 よしみ
(栄養4期)

未納の方は納入のほうお願いいたします。ちなみに、現在未納の方には、入会案内と振り込み用紙を同封しておりますので、お近くの郵便局よりお振り込みください。よろしくお祈いします。

平成12年度決算報告

収入の部 (単位: 円)

項 目	決 算 額
前年度繰越金	23,452,243
平成11年度同窓会費	6,735,000
預金利息	24,950
返金	10,000
収 入 合 計	30,222,193

支出の部 (単位: 円)

項 目	決 算 額
会長 会長行動費	99,596
①合 計	99,596
会計 印刷費	2,200
郵送費	74,650
雑費	7,332
②合 計	84,182
事務局 交通費・行動費	69,400
定例会運営費	17,490
郵送費	7,500
事務用品費	35,489
電話代	62,180
人件費	543,000
雑費	100,595
③合 計	835,654
渉外調査局 名簿作成費	280,880
雑費	18,937
④合 計	299,817
企画局 会報作成費	463,397
卒業記念品費	590,625
⑤合 計	1,054,022
予備費 ⑥	2,100,000
支出合計 (①+②+③+④+⑤+⑥)	4,473,271

繰越金の部 (単位: 円)

項 目	決 算 額
郵便定額貯金	5,000,000
中国銀行定期預金	16,020,537
中国銀行普通預金	4,728,385
繰 越 金 合 計	25,748,922

平成13年度予算

収入の部 (単位: 円)

項 目	予 算 額
前年度繰越金	5,000,000
	16,020,537
	4,728,385
同窓会費	10,830,000
収 入 合 計	36,578,922

支出の部 (単位: 円)

項 目	予 算 額
会長 会長行動費	100,000
①合 計	100,000
会計 印刷費	10,000
郵送費	100,000
雑費	20,000
②合 計	130,000
事務局 交通費・行動費	150,000
定例会運営費	30,000
郵送費	10,000
事務用品費	40,000
電話代	65,000
人件費	500,000
雑費	50,000
③合 計	845,000
渉外調査局 名簿作成費	350,000
雑費	20,000
④合 計	370,000
企画局 会報作成費	400,000
卒業記念品費	600,000
⑤合 計	1,000,000
予備費 ⑥	100,000
①+②+③+④+⑤+⑥	2,545,000
繰越金 ⑦	34,033,922
支出合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦)	36,578,922

編集委員

高原 紀子 (第1期卒・感覚矯正学科)

西中川 珠美 (第3期卒・医療情報学科)

宮崎 泰広 (第7期卒・感覚矯正学科)

編集後記

3人 : お疲れ様でした～

宮 : 何とか形になりましたね。

西 : こんな短期間で… (約3ヶ月)

高 : でもそんな短い間にアメリカではテロがあつたんだよね。

西&宮 : 腹切つたのもいるしねえ～… (謎?…3人のみが知る…)

高 : 去年は2人 (川崎 感覚3期、木下 体育1期) で作つたんだよね。今年は3人でも大変だったのにすごいねえ～。

3人 : 今回からは、広和印刷にお勤めの福祉1期 吉行 (旧姓 十鳥) さんのおかげでこんなに立派な会報ができました。(拍手 パチパチパチ)

高 : さあ、明日から次号へ向けて、ねた集め! ねた集め!

宮 : そうそう、頑張らなくてわあ～!。皆さんからの情報もお待ちしております。

西 : この編集後記を読んだ感想をお待ちしております。ご感想は、下記同窓会事務局まで。また、会報に載せてほしい情報などありましたら、同じく、下記事務局までお願いいたします。

3人 : みなさま よろしくおねがいしまあ～す。

川崎医療福祉大学同窓会

〒701-0193 岡山県倉敷市松島288

川崎医療福祉大学内同窓会事務局

Tel・Fax(086)462-8541

E-mail:dosokai@mw.kawasaki-m.ac.jp

URL:http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw

編集・デザイン : 広和印刷株式会社

〒700-0942 岡山市豊成3丁目18-7